|  |
| --- |
| 市長との細谷・上戸祭地区まちづくり懇談会「意見・要望書」 |
| 提出者 | ふりがな |  | 所属団体  |
| 氏　　名 | 役 職 名　 |
| 住　　所 |  |
| 電話番号 |  |
| テーマ　　「細谷・上戸祭エリア」の発展とＮＣＣの農業政策 |
| * 現在、宇都宮市内３９地区において、4回目のネットワーク型コンパクトシティ（以下、「ＮＣＣ」と称する）説明会が開催しているところでございます。細谷・上戸祭エリアにおいても、１１月２９日（木）、細谷地域コミュニティセンターで開催予定となっています。

その説明会は本市が目指す将来の姿である「ＮＣＣ」の拠点形成などを推進するため、主に市街化区域を対象にした旧市街の「都市拠点」と市街化調整区域の新市街の地区市民センター周辺に住宅地を誘導するエリアの「地域拠点」へ生活に便利な施設の充実等を図り、良好な居住環境を維持確保して行こうと、将来の土地利用の方向性を明らかにし、「コンパクトなまちづくり」を推進して行こうとするものだと理解をしているところでございます。* 細谷・上戸祭エリアは「都市拠点」の中心部から西北に4㎞、その先には、「城山・国本・

富屋・篠井」の「地域拠点」となる四つの対象地区があります。その「地域拠点」と「都市拠点」の中心部を結びつける接点の「地域（利便性の豊かな細谷・上戸祭エリア）」の重要性を認識し、その接点地域のさらなる発展を促すような政策の検討をしていただきたい。それが、従来のコンパクトシティとは違う「ネットワーク型コンパクトシティ」なのではないのでしょうか。

|  |
| --- |
| なぜならば、地域拠点の居住環境を確保しようとしても、将来、人口が真っ先に減少する可能性のある地域に、これから、生活に必要な商業施設や介護施設・医療機関の充実が図れるとは、とうてい思えません。なぜならば、民間の事業者はシビアに物事を考えています。赤字を行政で補填をしてくれるとすれば別の話ですが！。 |

* わたくしたちにとって、とても大切な、水や空気、自然を守ってくれている「地域」の皆さんの畑や田んぼ・林が、地区市民センター周辺に住宅地等を誘導することにより、現在よりも空き家・空き地や管理されない農地等が増え続ける可能性があります。そのことから、ＮＣＣを語るうえで一番重要なことはそのような地域の農業政策をも説明して行ってもらいたい。　例えば、農地を利用した観光施設やイチゴ団地・バラ団地・花卉等の大型農業施設を誘致し、農業に従事する若い方々の居住を増やすような活性化を図るごとが必要だと思っています。ＮＣＣを語るときに、土地の有効利用の農業政策をも論じていただきたい。

イメージを膨らまして夢を語っていただきたい。数年前から担当者にお話を申し上げています。ぜひ、執行部のご見解を承りたく要望書にしたためさせていただきました。 |
|  |